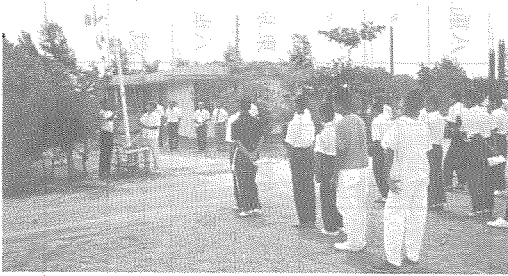
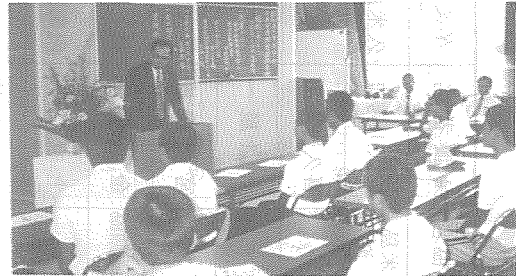


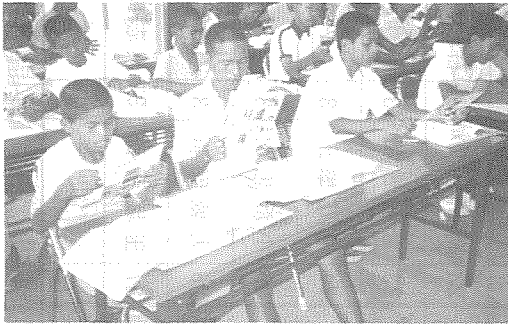
少年水産教室（夏季学級）



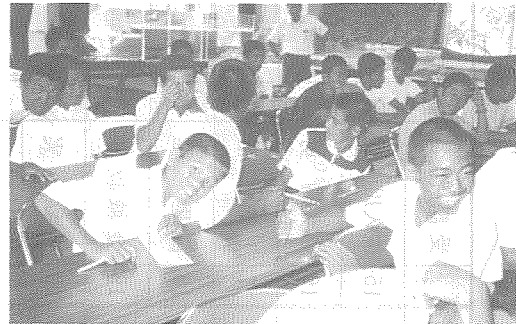
我は海の子白波のさわぐいそ辺の松原に……少年水産教室のテーマソングで県旗をかかげる（開校式）



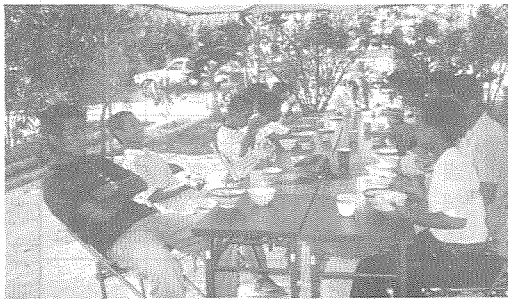
これからの水産業は、君たち若者が支えなければならぬと、後継者たちに目を細め激励に訪れた県漁連糸満会長



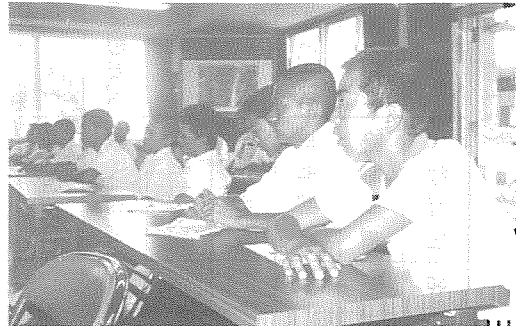
6日間のミーティング



さあ、これから6日間の学習の出発だ



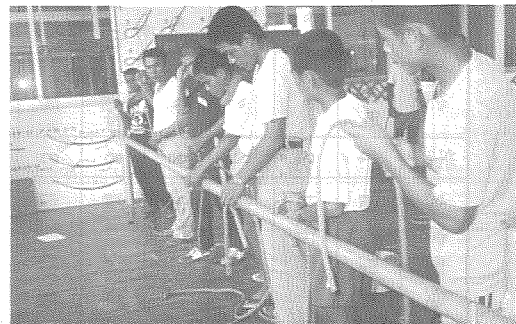
楽しい食事のひとつ
皆んなで食べればおいしいよ



父さんを助け、僕も海で生きたい



暑いさなかの手旗信号



漁師の基礎は縄結びから（水産高校にて）



結索の指導にあたる普及員（水産高校にて）



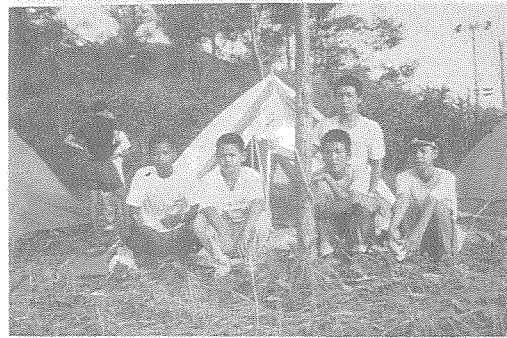
ビン玉保護網を作り、父さん母さんに見せたい（水産高校にて）



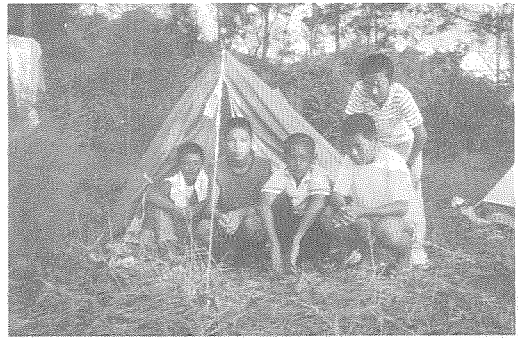
一度はこぎたかった糸満のハーレー舟（糸満漁港にて）



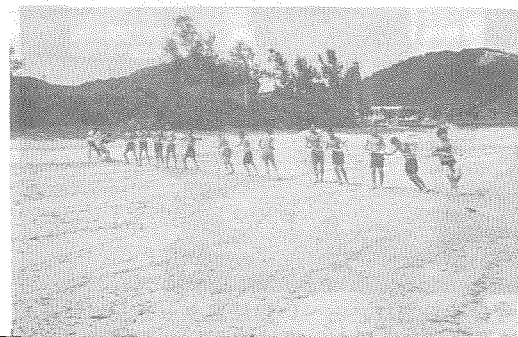
さあ、競争だ負けるなよ



楽しいキャンプ（名護市嘉陽）



2組で地曳網をひく……よいしょう、よいしょう、獲物はちかいぞあの入道雲が父さんに似ている

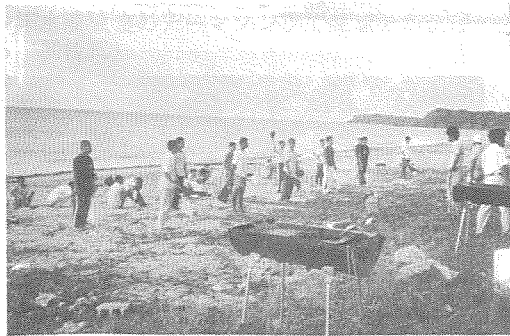




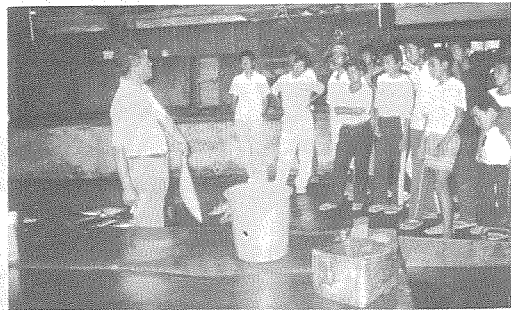
イカが数匹入っているぞ



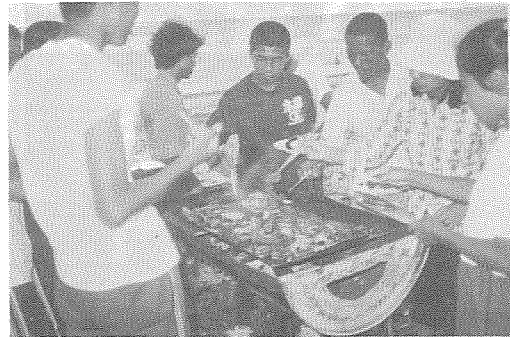
水泳訓練



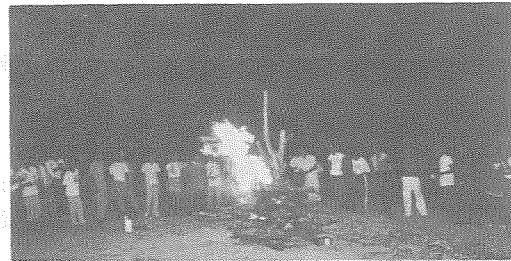
朝の手旗信号



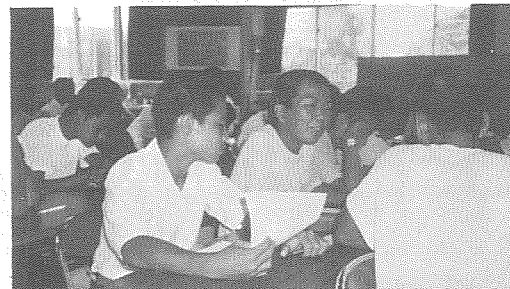
かつお漁業の本場、本部漁協の専務から説明を受ける (本部漁協にて)



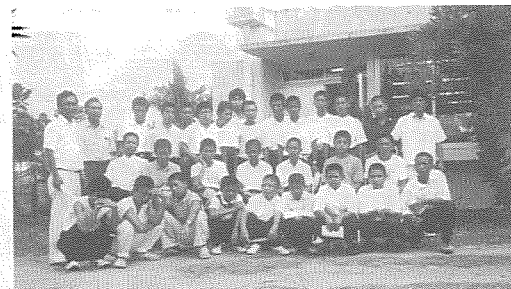
今日の実習はきつかった。もりもり食べるぞ



さようなら堂炎……炎がともる明日はお別れだ。さあ集いて合唱だ。遠き山に陽は落ちて星は空を散りばめぬ、今日の業をなし終えて、風は涼しいこの夕べ、いざや楽しき集いせん。



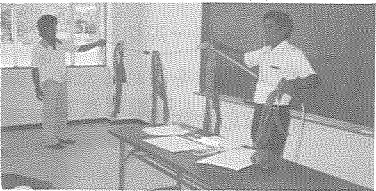


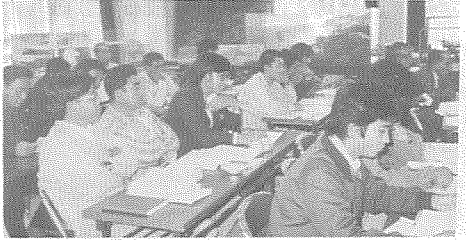
今日でお別れ、お〜い伊江島タッチュウ将来は漁師になるのか、俺はどうしようか迷っている……と語り合っている港川のオジーとつけられた人気者の玉城君。


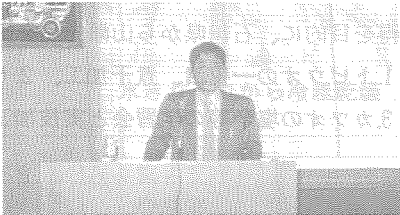
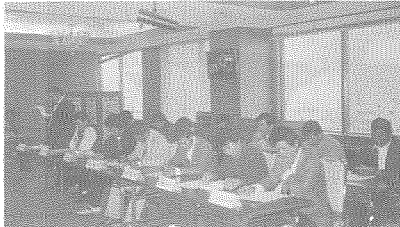




記念スナップ
大きくすなおに育てよ、君達の時代はつくり育てて管理して取る漁業となるだろう。

・青年水産教室

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57. 5. 25.	恩納 ハイツ	57名 1.漁村青壮年 2.市町村職員 3.漁協職員	<p>テーマ 講師</p> <p>1. 漁業権について 漁政課 新城 博</p> <p>2. 奄美におけるモズクの処理加工について 普及員 瀬底正武</p> <p>・昭和58年度は、全国的に漁業権一斉切替が行なわれるので、漁業権についての認識を深めるため、県の担当係を講師として漁業権の性格等について学習会を実施した。</p> <p>・モズクの生産量において沖縄は奄美大島に比べて漁場的に恵まれて生産量はすぐれているが、収穫時の処理加工は奄美よりおこなわれているため、キロ当りの価格に倍の差がある。（奄美の処理加工については先進地報告書に記載）</p>
 <p>漁業権について 講師 県漁政課 新城 博</p>			<p>57. 6. 22. 読谷漁協</p> <p>27名 ウニ生産グループ 漁協青年部 研究グループ</p> <p>テーマ シラヒゲウニの種苗生産について 講師 沖縄県立水産高校教諭 石垣三男</p> <p>ウニ資源の減少に伴い、種苗生産に対する関心が高まっているため、水産高校で試験した成果について学習会を行なった。</p> <p>さらに、読谷漁協の新垣氏のウニ蓄養場において、海藻や陸藻を餌料にし計画出荷しているカゴ蓄養を視察した。</p>
 <p>ウニ種苗生産の学習会（読谷漁協） 講師 沖縄水産高校石垣教諭</p>			 <p>カゴにウニを入れ海藻、陸藻を得て計画的に出荷している。</p>
 <p>シラヒゲウニ蓄養場（読谷地先）</p>			 <p>丸カゴによる蓄養</p>

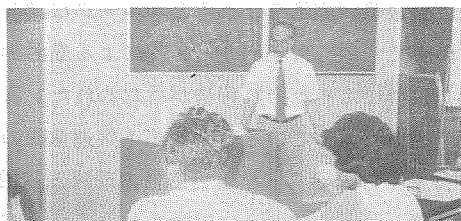
実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57. 9. 29.	本部町中央公民館	45名 中・北部の漁協 青壮年 市町村担当職員	<p>テーマ 講師</p> <p>1. トビロープ曳漁業について 伊江漁協 又吉久仁</p> <p>2. ヒジキの株移殖について 普及員 瀬底正武</p> <p>・伊江島のトビウオ漁業は、古くから追込網によって営まれてきたが、現在のトビロープ曳漁業は昭和41年頃に伊江漁協の又吉久保氏によって、少人数で可能な2そう曳及び1そう曳漁法に改良された、その漁具漁法及び4ヶ月操業による経営内容に感心が高く、活発な質問が行なわれた。</p> <p>・ヒジキの漁場拡大のために、与那原漁協婦人部が中心となって行なっているヒジキの株移殖方法についての学習会を行なった。</p>
 <p data-bbox="203 639 536 691">トビロープ曳漁業について 講師 伊江漁協 又吉久仁</p>			 <p data-bbox="687 1016 1108 1068">与那原漁協婦人部によるヒジキ株移殖 (与那原漁協地先海面)</p>
58. 2. 4	漁業者センター	35名 中・北部水産研究会 中・南部漁協職員	<p>沖縄県立水産高校教諭の上田不二夫氏を講師として「水産業と市町村行政」についてと題し、地域水産振興における市町村水産担当係の役割と強化についての講演と県漁政課漁協金融係の北村氏による県内漁協の経営内容及び組合運動についての学習会を行ない、引き続き中北部の市町村水産担当係で組織している水産研究会のメンバーと中南部の漁協青年部との意見交換が行なわれた。</p>
 <p data-bbox="203 1541 559 1593">水産業と市町村行政について 講師 沖縄水産高校 上田教諭</p>			

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
			 <p data-bbox="724 513 1057 566">組合運動について 県漁政課北村係長</p>
58. 3. 11	自治会館 (那覇市)	漁協青壮年部 漁協職員 市町村水産係 関係機関職員	<p data-bbox="628 585 1081 697">テーマ 講師 漁村青年部活動と 長崎県漁連漁政課長 連合会組織について 吉田忠雄</p> <p data-bbox="600 710 1190 1503">漁村青年グループ組織の強化とリーダー育成を目的に、今回は、長崎県漁連の漁政課長である吉田忠雄氏を講師に迎え、昭和28年に県漁連が事務局となって指導し、結成された長崎県漁協青年部、漁青連の組織活動及び地域青年部活動についての水産教室を開催した。その内容は、1.漁村における青年部の発生、2.青年部の自発活動、3.青年部活動の三要素（(1)ともに遊ぶ、(2)ともに働く、(3)ともに考える）、4.青年部は協同組合の補完組織（下部組織でない）、5.リーダーの役割、6.青年部活動の阻害要因、7.漁青連結成の背景と活動、8.実績発表大会等の実例をまじえたユニークな講演であった。続いて7地区青年部リーダーによる部活動状況と問題点についてそれぞれ報告が行なわれた。青年部活動の発展を阻害している要因は、1.共通意識の欠除、2.リーダーの欠除、3.漁協役職員の理解と認識のうすさがあげられ、そのために部活動が行き結っている。この問題について、全体で討議するシンポジウム方式を取り入れたパネル、ディスカッションを行なった。</p>  <p data-bbox="170 1161 568 1213">漁村青年部活動と連合会組織について 講師 長崎県漁連漁政課長 吉田忠雄</p>  <p data-bbox="220 1464 532 1493">地域の青年部代表の活動報告</p>  <p data-bbox="170 1711 568 1760">活動報告に対する参加者からの活発な意見</p>  <p data-bbox="683 1692 1085 1740">青年部活動について評価を行う講師の 吉田忠雄氏</p>

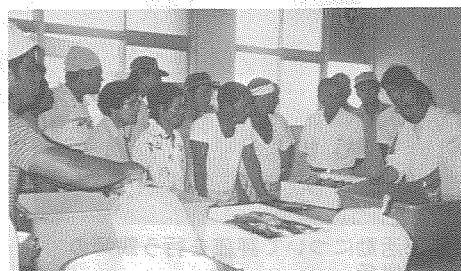
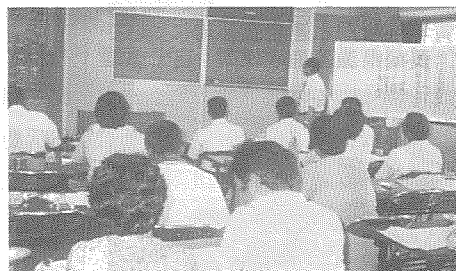
実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57.11.8	久松公民館 (平良市)	45名 平良市漁協 青年部 平良市池間 漁業者	テーマ クビレヅタについて 講師 普及員 仲間 勲 クビレヅタ(海ぶどう)の増養殖の手法について、 実技を兼ねた講習会を実施した。
58.3.1	石垣市	32名 八重山漁協 青年部 漁協職員	テーマ 漁業気象について 八重山地方気象台の金城技術課長を講師として、主 に天気図の見方の学習会を実施した。

交流学習会

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57.7.5 ~ 6 (2日間)	水産試験 場開放実 験室	100名 漁協婦人部 漁協青壮年部 県内加工業者	テーマ 多獲性魚の加工 講師 石川県水産技術士 山瀬 登 時期によって生産される多獲性魚であるトビウオ、 トビイカに加工を施して、消費者の要求に適した新し い加工技術の習得を目的に、石川県から山瀬先生を講 師として迎え、1.トビウオの一夜漬、煮干加工、2.ト ビイカの塩辛、3.カツオの塩辛等の学習会と実技加工 を実施した。



トビウオ、トビイカの加工についての学
習会 石川県山瀬登水産技術士



トビウオの実技研修

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
			  <p>加工品も鮮度の良いものでなければ (トビイカ加工)</p> <p>塩づけ</p>   <p>水きりそれから冷風乾燥</p> <p>天日乾燥</p>
58. 1. 18	宮古支庁 会議室	21名 ・平良市漁協 青年部 ・漁協職員 ・研究グループ ・市町村水産係	<p>テーマ 漁業経営に於ける漁協の役割について</p> <p>講師 宮古支庁水産係 長嶺 巖</p> <p>これからの漁村の指導者を育成するため、漁協青年部及び研究グループを主体に、漁業協同組合の在り方について、改めて見つめることが必要であるため、組合の歴史と現状について学習会を行なった。</p>

技術交流会

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57. 5. 26 ～ 28 (2泊3日)	奄美大島	5名 八重山漁協 (1) 恩納 " (1) 伊平屋 " (1) 金武 " (1) 普及員 " (1)	<p>モズク処理加工技術の改善を図り、漁業経営の安定を促進する目的で、県内のモズク養殖グループ員を対象に、加工技術の先進地に派遣し、技術の習得に務めるとともに、先進地漁業者等との交流を図った。</p> <p>(先進地研修報告)</p>

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
58. 3. 3 ～ 4 (1泊2日)	伊良部 漁協	4名 池間漁協 (2) 平良市漁協 (2)	曳縄、立延縄、一本釣についての技術交流のためグループ代表地区青年代表を派遣し、普及担当地区内の交流を実施した。

漁村青壮年婦人活動実績発表大会

実施年月日	実施場所	参加者	実施内容
57.10.29	労働福祉 会館 (那覇市)	300名	<p>県下の各種漁業研究グループ員、婦人部員をはじめ関係者が一堂に会し、日頃の自主的な研究活動成果を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上および成果の普及を図り、漁業の振興に寄与するという趣旨のもとに毎年11月に開かれる県産業まつりで開催された。</p> <p>発表テーマ 発表者</p> <ol style="list-style-type: none"> 一本釣漁場の確保に取り組んで 八重山漁協一本釣漁業研究グループ 宮里清吉 漁協青年部結成と今後の活動 平良市漁協青年部 神里裕夫 シラヒゲウニ養殖と漁場管理について 読谷漁協 新垣吉雄 漁業を志して 伊江漁協青年部 新垣和信 トビロープ曳漁法の導入を試みて 久米島漁協青年部 宮平梨勇 婦人部で取り組んだ浜の清掃 八重山漁協婦人部 裁 富子 地域に役立つ漁協婦人部活動をめざして 池間漁協婦人部 仲地政子